

2008 須磨ポイントレース帆走指示書

1. 適用規則

ISAF 競技規則 (RRS) 2005 ~ 2008 並びに本帆走指示書と共にレースコミッティの発布する補足を含むものとする。

2. レースの日程

レースの日程は別に定める。第 1 レースのスタート予告信号の発せられる時刻は午前 10 時 55 分とする。但し午後 2 時 30 分以降のスタートは行わない。艇長会議時に変更することがある。

3. レースエリア及びレースコース

ラウンドブイコースレース：須磨沖防波堤灯台から 168 度方向 2800m の地点を中心とした半径 1300m の海域内とする。(別紙.1)

ディスタンスコースレース：レース当日の艇長会議で発表する。

4. マーク

マークは原則とし蛍光オレンジ及び蛍光グリーンのブイを使用する。

5. スタートライン

スタートラインはコースのスタートマーク(ラウンドブイコースの場合は風下マークを兼ねる)と、コミッティボートのメインマスト(マークボートの場合はクラブ旗を掲げたポール)を結ぶ線とし、レース艇はコミッティボートを右舷に見てスタートするものとする。

6. スタート方法

スタート方法は RRS26 による。

スタート予告信号：(スタート時刻 5 分前) クラス旗を掲揚し音響 1 声を発する。

準備信号：(スタート時刻 4 分前) 準備信号旗を掲揚し音響 1 声を発する。

スタート 1 分前：準備信号旗を降下し長音 1 声を発する。

スタート信号：クラス旗を降下し音響 1 声を発する。

スタートラインの消滅：スタートラインはスタート信号後 4 分で消滅する。

7. リコール

リコール艇があった場合には、スタート信号の直後に X 旗を掲揚し、音響 1 声を発する。

但し、復帰しない艇があっても、X 旗はスタート信号から 4 分後に降下する。

ゼネラルリコールの場合は音響信号 2 声と共に第 1 代表旗を掲揚する。ゼネラルリコールの信号が発せられた場合、新しい準備信号(スタート 5 分前)は、第 1 代表旗が降下した 1 分後に音響 1 声と共に掲げられる。

8. タイムリミット

タイムリミットは当該レースの艇長会議においてそのつど発表する。なお、タイムリミ

ットと同時にレースは終了する。

9. フィニッシュライン

フィニッシュラインは、フィニッシュマークとコミッティボートのメインマスト（マークボートの場合はクラブ旗を掲げたポール）を結ぶ線とする。

10. スタートの延期

スタートを延期する場合には、コミッティボートにA P旗を掲揚し、音響2声を発する。A P旗はスタート予告信号の1分前に降下し、音響1声を発する。

11. コースの短縮

コースを短縮する場合には、コミッティボートに音響2声と共にS旗を掲揚する。この場合、フィニッシュラインは、コミッティボートとその直近のマークとを結ぶ線とする。

12. レースの中止

レースを中止する場合には、コミッティボートにN旗を掲揚し、音響3声を発する。

13. 失格に替わる罰則

2回転ペナルティーは、RRS44.1及びRRS44.2の規定に従い、第2章の規則違反に対し適用される。

14. 抗議

抗議はRRS60による。抗議は当日の最終レース終了後2時間以内にレースコミッティに対して抗議書を提出しなければならない。

関係艇、証人艇はヨットハーバー内のスピーカーで呼び出され、審問はできる限り早い機会に行う。

15. その他

帆走指示書に記載されていない得点方法および参加各艇の義務は、ポイントレース実施要項に記載する。

須磨ヨットクラブ レース委員会